

## I. 研修について

日本では、今までにない高齢化社会を迎え、循環器疾患を有する患者も増加の一途をたどっており、当院でも循環器疾患を有する患者は増加している。当科では、虚血性心疾患、心不全、不整脈に対する医療を24時間体制で提供しており、総合病院における循環器内科の役割として、循環器疾患を合併する患者の周術期管理にも積極的に取り組んでいる。循環器疾患は生活習慣病を基盤として、発症することも多く、日頃の予防も重要であり、栄養管理など予防にも取り組んでいる。研修医には毎日指導医が、診断、検査および治療について教育し、また、急患への対応についても指導する。将来、循環器内科を志す先生にはもちろん、他科に進まれる先生にとっても、循環器内科での研修は有意義なものとなるであろう。

## II. 研修の到達目標

循環器疾患の診断と治療に関する基本的な知識・技術を習得する。

循環器疾患の診断に当たっては、詳細な病歴の聴取・聴診等の身体所見・胸部X線写真と心電図が基本であり、この4点についての知識をしっかりと身につける(この4点がどんな診療所でも利用可能な道具である)。心エコー検査についても理解を深め、一人で実施できる技術を習得する。薬物療法の基本を習得し、心臓カテーテル検査などの侵襲的検査やPCI(冠動脈形成術)・ペースメーカー・カテーテルアブレーションなどの非薬物療法の内容や適応について学習する。循環器疾患では救急患者への対応が重要であるので、心肺停止など重症患者に対する迅速かつ適切な蘇生術と電気除細動法の修得も必要である。

## III. 医師数[うち臨床研修指導医数] (平成29年3月現在)

- ・常勤医師 6名 [2名]
- ・非常勤医師 1名

## IV. 学会認定医・専門医・指導医 (平成29年3月現在)

- 日本内科学会認定内科医(5名)・総合内科専門医(2名)・指導医(3名)
- 日本循環器学会循環器専門医(4名)
- 日本高血圧学会高血圧指導医(1名)
- 心血管インターベンション治療学会指導医(1名)
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定医(1名)・指導医(1名)

## V. 施設認定

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設
- 日本高血圧学会専門医認定施設

